

事故報告書

		センター	関係者	発行
報告区分	中電関係分・その他			
受信	2018年6月18日10時01分	報告元 豊田電気引込工事センター		
事故の種類	感電 <u>墜落</u> 災害 交通 その他			
発生日時	2018年6月18日 9時45分		天候 雨	
発生場所	豊田市地内 09ミ862			
被災者	直営班 (<u>専任班</u> ・直営班) 協力班店 A B C			
	従事者ランク <u>s</u> a b c		公衆 男・女 死亡 <u>負傷</u>	
	〇〇〇〇(株) ****		30代	
<p>事故の状況</p> <p>09ミ862 臨時8kVA新設工事 単3 22DV3 38m メッセン引込 (メッセン否) 作業員 班長以下4名 (全員従事者ランク s) 高所作業車2台 (いすゞエルフ SH138、アイチ車両)、作業車1台 (ハイエース) 9:15 本日2件目の現場に到着した。 9:17 作業前 TBM を実施、車両の配置と作業員の作業内容を確認し、注意事項「通行車両に注意」と決めた。 9:25 09ミ862へ班長と作業員Aが移動、被災者は09ミ874から862側9mの地点へ高所作業車 (SH138)を設置し、作業員Bが09ミ874から引込線の延線を開始した。 9:30 被災者は、坂道 (傾斜7度) に対し高所作業車を前下がり駐車した。 9:32 被災者は、輪留めを設置し、民地側のアウトリガーのスライドを張り出し、ジャッキベースを前側のアウトリガーに滑らないように二枚重ねで設置した。 9:35 ジャッキの前側から張り出し、後ろ側のジャッキを調整し車両の水平を確保した。 被災者はバケットに乗り込んだ。この時、胴綱を使用しなかった。 被災者は、メッセンのハンガーを取り付ける場所までブームを前方に伸ばし始めた。 ブームをいっぱい伸ばした時、バケットがふわっと前方に傾きかけたため、被災者はとっさにバケットの横にある弱電用メッセンを両手でつかんだ。 バケットがそのまま前方に倒れていったため、被災者は弱電用メッセンにぶら下がったままになった。 9:40 班長は、警備員の声で被災者が宙吊りになっていることに気が付いた。 9:41 班長は被災者の救出のため、09ミ862に設置した高所作業車のアウトリガーを格納し、救出に向かう途中で被災者が力尽き、メッセンから墜落した。 被災者は両足から落下し地面に倒れこんだ。 9:50 班長が被災者の所に駆け寄り、けがの状態を確認し、救急車を手配した。 10:05 救急車が到着し被災者はトヨタ記念病院に搬送された。 10:10 班長は社長へ連絡し、状況を報告した。</p>				

処置

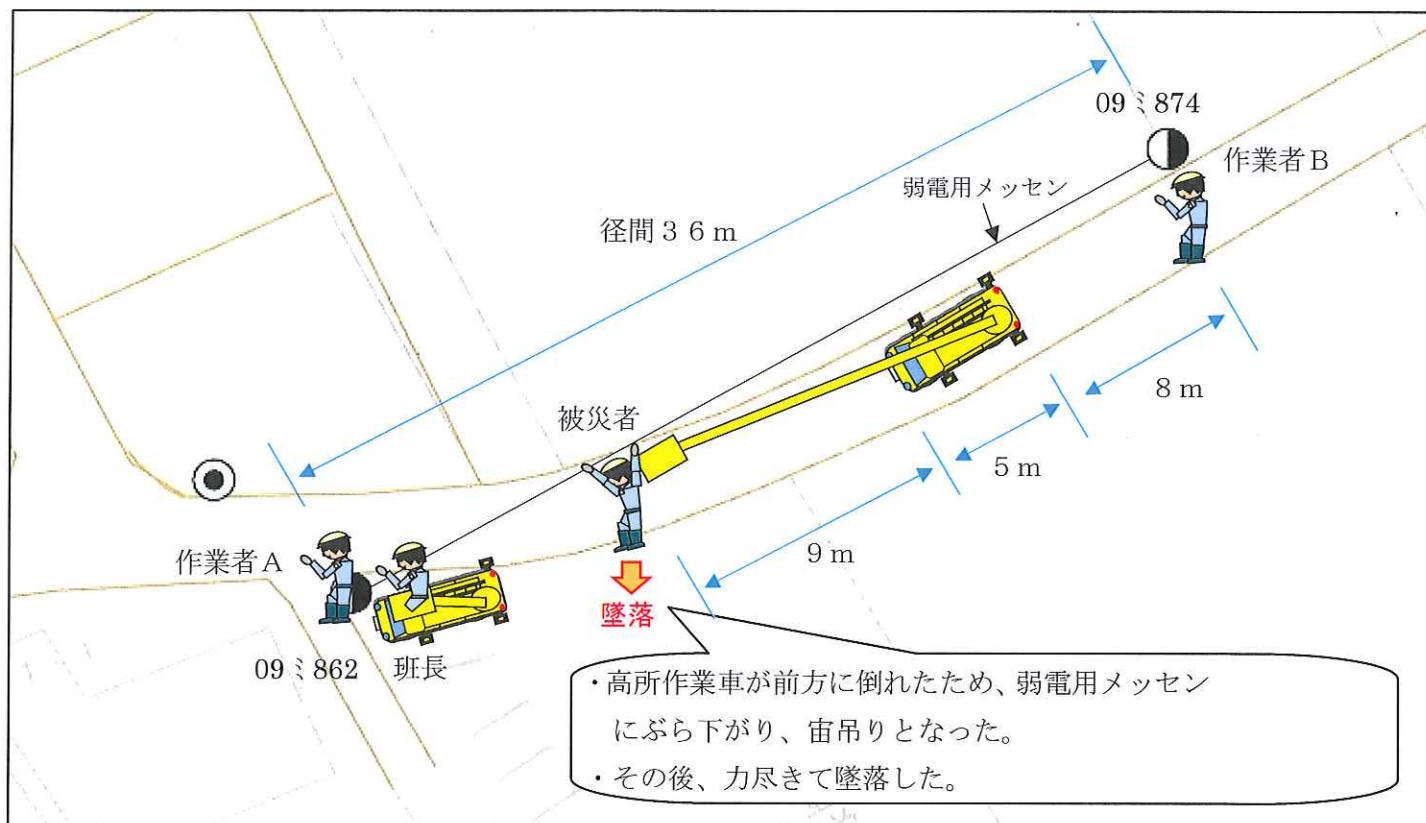
トヨタ記念病院へ救急車で搬送
両足首骨折
休業、全治の見込 未定

備考

3月23日(金)トーエネックにおける高所作業車傾斜事例の周知状況

- ・5月24日(木)引込工事センター定例会で周知後、社長より作業員全員に周知した。
- ・6月6日(水)引込工事センター直営班パトロール時に周知した。

現場状況図（平面図）



現場状況写真



前方に倒れた高所作業車（側方より）



前方に倒れた高所作業車（前方より）



ジャッキベース 2枚重ねの様子



ジャッキベースの重ね方



バケット内部の様子

現場状況図(立面図)

09≒874

